

建築設備工事監理報告書【簡易版】

※原則戸建て住宅に限る。

株式会社総合確認検査機構 様

令和 年 月 日

工事の監理状況を報告します。
この監理報告書は事実に相違ありません。

工事監理者

[報告事項]

項 目	報 告 事 項	P1	P2	P3					
1. シックハウス対策用換気設備	① 換気エリア・経路、建具等の通気性（換気計画図の添付）	良 否	☐	☐					
	② 換気スイッチの措置（常時運転を指示する注意書き等）	良 否	☐	☐					
	③ 換気設備の取付・運転状況	良 否	☐	☐					
	④ 給排気口の設置の状況（位置、大きさ、雨・虫除け対策）	良 否	☐	☐					
	⑤ 換気ダクト等の施工状況	良 否	☐	☐					
	⑥ 換気装置の能力の確認（計算書、資料の添付）	良 否	☐	☐					
	⑦ 上記⑥に代えて実測風量による場合は表1に記載のこと		☐	☐					
2. 火を使用する室、居室	① 該当する設備の有無	有 無	☐	☐					
	② ファン及びダクト取付状態、運転状況	良 否	☐	☐					
	③ 上記の報告に加え実測風量を表2に記載すること		☐	☐					
3. 延焼の恐れのある外壁の換気孔に設ける防火設備等	① 防火ダンパー・防火おおい（100cm2以下）	有 無	☐	☐					
	② 有効な検査・点検が可能な施工	良 否	☐	☐					
	③ 貫通部のモルタル等不燃材による穴埋め及び取付状態	良 否	☐	☐					
	④ 防火ダンパー等の設置状況	良 否	☐	☐					
4. 直接外気に面しない便所	① 該当する設備の有無	有 無	☐	☐					
	② ファン及びダクト取付状態、運転状況	良 否	☐	☐					
5. 給湯設備の転倒等防止対策の措置（満水時15kg以上）	① 該当する設備の有無（満水時の質量 k g）	有 無	☐	☐					
	② 給湯設備機器の建築物の部分等への緊結方法（底部・上部・側部）		☐	☐					
	③ 適正な径、埋込長さ若しくは打込長さ、本数	良 否	☐	☐					
	④ 施工箇所堅固に取付し、ひび割れや損傷がないこと	良 否	☐	☐					
6. 給排水その他の配管設備	① 排水配管設備の末端接続	良 否	☐	☐					
	公共下水・私設下水道管・水路・（ ）		☐	☐					
	② 全ての配管の取付状態(建告第1388号)	良 否	☐	☐					
【表1】 風量測定記録 (シックハウス)	測定年月日 平成 年 月 日 会社名 測定者氏名								
換気 エリア 番号	換気 種別	室名	床面積 A (㎡)	平均天井高 h (m)	気積 V=A×h(㎡)	換気回数 N(回/h)	所要換気量 Q=V×N (㎡/h)	給気風量 (㎡/h)	排気風量 (㎡/h)
【表2】 風量測定記録 (火気使用)	測定年月日 令和 年 月 日 会社名 測定者氏名								
火気使用箇所	係数N	理論排ガス量 K (㎡³ / k Wh)	使用器具名 燃料消費量q (k W)	燃料消費量合計 Q=Σ q	必要換気量 V=NKQ(㎡³ / h)	実測風量※ (㎡³ / h)			

[報告事項] (※窓用換気扇については定格風量を記載してもよい)

- ・別紙指示書の以下の報告区分に従い、上表の同列の(□)印の事項を報告すること。なお設備が無い場合は不要。
 - (P1) 令第10条第三号の規定の適用を受ける建築物を対象とする。(提出項目:1)
 - (P2) 令第10条第四号の規定の適用を受ける建築物を対象とする。(提出項目:1.2.3)
 - (P3) 令第10条第三号及び第四号の規定の適用を受ける建築物以外の建築物を対象とする。(提出項目:全て)